

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 22 日作成)

委員会名	連続体の不均質・多相問題小委員会	主 査 名：源栄正人
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (応用力学運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：上谷宏二
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	本委員会は地盤や構造材料などを対象に、連続体の不均質性や多相のモデリングや外乱に対する不均質な連続体の挙動などに着目した数理的手法の現状把握と将来の展望を目的とする。2004 年度は、最新の研究の把握、および取りまとめに向けた活動および次年度以降の計画の確認を行う。	
委員構成 (委員名(所属))	源栄 正人、神田 克久、井口 道雄、上林 宏敏、圓 幸史朗、神園 勝彦、小林 正実、近藤 典夫、薛 松濤、高野 真一郎、登坂 宣好、西村 敏雄、三辻 和弥、元結 正次郎、吉田 一博	
設置 WG (WG 名：目的)		
2004 年度予算	130,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2004 年 9 月 25 日：10 人 2004 年 12 月 17 日：8 人
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>委員会の各メンバーが最新の研究成果について報告を行い、その結果に基づいて、連続体の不均質性と社会との関わりについて整理を行うとともに、連続体の不均質性のモデリングや外乱に対する不均質な連続体の挙動などに着目した数理的手法の現状把握と将来の展望を state of the art としてまとめる作業を行い、小規模なシンポジウム開催に向けた準備を進めた。</p>
	委員会 HP アドレス：
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>本年度は、2 回委員会を開催することができ、昨年度の委員会を開くことができなかった活動を埋め合わせ、概ね計画通りの成果が得られた。さらに、次年度以降の新たな活動に向けて基礎を築くことができた。</p>
その他評価すべき事項	